

甲斐イチヨさんが「くまもとふるさと食の名人」に認定される

▶平成23年度「くまもとふるさと食の名人」認定証交付式・研修会



蒲島知事に赤土漬けの説明をする甲斐さん（右）

地域の食文化を伝承する「くまもとふるさと食の名人」の認定証交付式が11月14日、熊本市で行われ、阿蘇地域から一の宮町三野の甲斐イチヨさん（料理名「赤土漬け」）が新たに認定されました。

この制度は、郷土料理について卓越した知識、経験、技術を有し、伝承活動に取り組んでいる人を熊本県知事が認定し、それぞれの地域での食文化発信の拠点として、食文化の伝承、食育の推進、並びに地産地消を推進していくものです。

この日は、新たに認定された食の名人が県内各地の自慢料理を持ち寄り、料理の紹介等を通じた交流会が行われたほか、試食会には蒲島知事も出席し、阿蘇特産の赤土漬けを堪能されました。

2万人が見守る中、阿南夫妻が炬火ランナーつとめる

▶ねんりんピック2011熊本大会



ねんりんピックの総合開会式が10月15日、常陸宮ご夫妻をお迎えし、選手や役員約2万4千人が見守る中、県民総合運動公園陸上競技場で開催されました。式での大会炬火は、「阿蘇の御神火」から採火され、会場において、県内のシニアで世界的記録を持つ4人のランナーがリレーし、最後に五輪柔道金メダリスト山下泰裕さんに渡され点火。大きな拍手とともに開幕しました。その炬火リレーの大役をなんと小地野の阿南重継さんご夫妻がつとめられました。

「身に余る光栄で、一生懸命取り組ませていただきました」と語る阿南さん。阿南さんご夫妻の世界的記録とは、2008年1月夫婦でフルマラソンを完走し、その年齢が夫婦で「161歳82日」と世界最高年齢であったこと。見事ギネス認定されています。

まだまだお元気なお二人。今後も挑戦は続きます！

山田小に憧れの力士がやってきた！

▶青少年健全育成相撲大会



青少年健全育成の一環として、山田地域の子もたちに相撲の楽しさを体験してもらおうと11月7日、山田小学校で相撲の交流会が催され、現役時代「寺尾」として活躍した鍛山親方と鍛山部屋の小結 豊真将関ら力士4人を招いて、かかり稽古などでふれあいを楽しみました。

阿蘇郡市相撲連盟協会長の岩本さとみ氏が鍛山親方と10年来の交流があって、今回阿蘇市の訪問が実現したもので、関係団体協力のもと山田地域分館（村上政次分館長）主催により行われ、初めての催しでもあり多くの住民が訪れました。

催しでは、三久保にある岩下道場に通う子ども23人が、力士からすり足や股割りの稽古をつけてもらい、ぶつかり稽古で大きい体の力士に懸命に立ち向かう子どもたちに、見物する住民や保護者から大きな歓声が沸き起こりました。



水土里ネット阿蘇など全国で7団体が受賞

▶ 田園自然再生活動コンクール



▲10月23日、千葉県の東京理科大学で行われた表彰式の様子

魅力ある農村づくりのため、農業者や地域住民、NPOなどが連携し取り組む自然環境保全・再生活動で、特に優良である団体を表彰する平成23年度田園自然再生活動コンクールが行われ、水土里ネット阿蘇（本田二男理事長）が「パートナーシップ賞」を受賞しました。（社）地域環境資源センター主催、農林水産省などが共催して行ったもので、全国から7団体が選ばれました。

水土里ネット阿蘇は、自然保全活動のコーディネーターや大規模清掃活動、阿蘇谷へのツル越冬誘致計画や生き物調査等を実施。地域住民の先導役となって農林業団体や行政組織、教育機関や観光協会、ボランティア団体等と協働した取り組みが評価されました。

戦没者への追悼と恒久平和を願って

▶ 阿蘇市戦没者追悼式



平成23年度阿蘇市戦没者追悼式が10月26日、阿蘇体育館で挙行政され、阿蘇市遺族会連合会（田嶋日出志会長）をはじめ、ご遺族や関係団体など約240人が参列し、先の大戦による戦没者への追悼の誠が捧げられました。

式では、遺族代表等追悼のことばが述べられ、香雲堂吟詠会阿蘇中央本部（山部七生本部長）による献詠が行われた後、参列者による献花が行われました。

最後に阿蘇市児童代表として牛島裕菜さん（内牧小6年）が「平和を築くためには」と題した作文を朗読し、「戦争の原因を無くすのは差別やいじめを無くすこと。身近なところから解決していくことが大切だ。」と、平和への願いを読み上げました。

大自然の中、馬術競技

▶ スペシャルオリンピックス日本・熊本大会



知的障がいのある人たちのスポーツ大会、スペシャルオリンピックス日本の熊本地区大会が10月行われ、本市では馬術競技が、乗馬クラブ夢☆大地グリーンバレーで30日に開催されました。今大会は、参加者の練習成果発表の場として年間を通じ行われている国際的なスポーツ大会で、多くのボランティアの方々の協力で開かれています。

馬術競技は2005年にスペシャルオリンピックス日本では初めて熊本の阿蘇で行われました。以来、アスリートたちは月に2回阿蘇を訪れ練習や温泉を楽しんでいます。大自然のもと馬との触れ合いは、いろいろな効果を生み出しているそうです。